

## 平成三年度県当初予算 総額五、二七六億四千万円

県の新年度予算が決まりました  
たが……

ような新鮮な緊張感を感じています。  
予算づくりで特に力を入れた  
点や工夫した点は……

私が初めて知事に就任した頃を振り返ってみると、オイルショック後の財政的に本当に厳しい時代でした。近年、関西国際空港の立地や近畿自動車道の南伸、和歌山マリーナンティやコスモパーク加太をはじめとしたビッグプロジェクトの前進など各種の基盤整備が着実に進んでいます。これに伴って企業進出も盛んになってきました。

新年度にむけての抱負をきかせてください。

県の予算は福祉や教育、土木や農林関係等の基幹的な事業を行うための一般会計予算が四、五一三億四千万円、その他病院事業や用地の先行取得など特定の目的のために設けられている特別会計予算が六九六億八千万円、その他土地の造成事業などの企業会計予算が一六六億二千万円。全部あわせると五、三七六億四千万円になります。

そうですね。私は地域の活性化に欠かせないのが交通体系の整備だと思います。特に山間部の多い和歌山県にとって、道路網の整備が非常に大切であり、これまで最も重点課題として取り組んでいます。そのため道路予算としては

## 「着実に前進、新たなる展開」

なかでも一般会計予算は前年度に比べ、六・八%の伸びになり、国の予算や地方財政計画（県など）の地方団体が財政運営を行う時の指針的なもの）の伸びを上回る積極的な予算を編成しました。

少しほっとしたということが正直な気持ちです。

それと、私はこれまで「豊かなふるさと和歌山の創造」ということを県政の基本目標にして二十一世紀をにらんだ色々な施策を行つきました。

その二十一世紀まで残すところあと十年です。その意味で非常に重要な節目の新年度がスタートします。ものとの始まりは皆さんと同じだと思うんですが私も心躍る

全体で五四三億円を確保したほか、南紀白浜空港のジェット化推進などにも努力していきます。

また私達をとりまく社会には国際化や情報化、技術革新、高齢化といった大きな時代の波が押し寄せています。新年度予算でも、例えは新しい工業技術センターの建設やオレンジなどの輸入自由化対策、在宅老人の福祉サービス制度の大幅な拡充や看護婦さんの充足対策、健康福祉問題の拠点になる総合保健・福祉センター（仮称）の建設など新しい時代の流れに適応できるようとにかくできる限り知恵を絞っています。

また一方で、税収が復調傾向にあるとはいってもまだ十分なものとは言えません。限られた予算の中で、徹底した経費の見直しや行政改革の推進にも工夫をこらしています。

今年度予算をつくりおえての感想は……

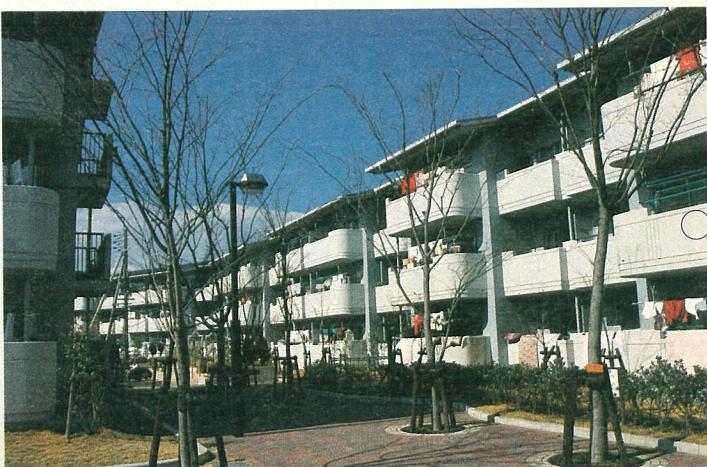
少しほっとしたということが正直な気持ちです。

それと、私はこれまで「豊かなふるさと和歌山の創造」ということを県政の基本目標にして二十一世紀をにらんだ色々な施策を行つきました。

その二十一世紀まで残すところあと十年です。その意味で非常に重要な節目の新年度がスタートします。ものとの始まりは皆さんと同じだと思うんですが私も心躍る



知事 仮谷 志良



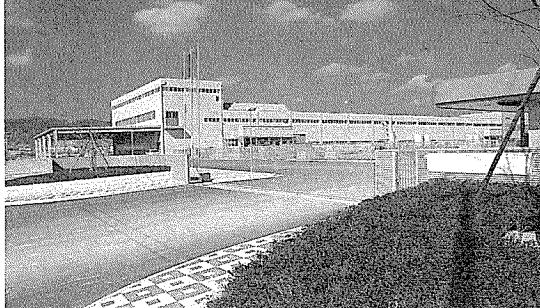


打田町に完成した松下電池の新工場ではビデオやカメラ、ワープロなどに広く使われる充電用の電池(二次電池)が作られ

### 操業開始 松下電池

昭和六十三年六社、平成元年十一社、二年十六社。過去3年に県内への進出を決定した企業です。

### 桃山町へ三社進出



このように昨年(平成2年)は、16社の企業進出がありますが、そのうち9社は日高以南への進出です。また今年に入っています。

番号	進出企業名	事業内容
①	共同印刷(株)	歯磨用チューブ等製造
②	阪南電線(株)	各種電線の製造
③	株新幸機械製作所	印刷・製函機械製造
④	株サンゴ	土木・建築資材の製造
⑤	株小林工業所	製缶業、鉄骨建築等の製造
⑥	大和歯車製作(株)	各種歯車製造
⑦	株北浦製作所	消火栓器具製造等
⑧	オール薬品工業(株)	医薬品製造
⑨	株三幸金属工業所	各種銅版、コイル加工販売
⑩	株セイコー製作所	産業用機器の製造
⑪	大峰工業(株)	チップ搬送機械製造
⑫	高田機工(株)	橋梁、鉄骨等の鋼構造物
⑬	日建加工工業(株)	防錆管製造等
⑭	株アイトック	建設資材の製造
⑮	株桜之宮鉄工所	鋼構造物、設計、施工
⑯	東洋ハーネス(株)	自動車用ワイヤーハーネス

- 様々な機器は専業電気照明器のため、進出するもの
- 大光電機(株)は專業電気照明器のため、進出するもの
- 旭マシンナリ(株)は製紙機械などの製造メーカーで、業務拡張置にあり、生産能力増強のため

- 打田町に完成した松下電池の新工場ではビデオやカメラ、ワープロなどに広く使われる充電用の電池(二次電池)が作られ
- 新しく建設する新館は鉄筋コ
- 企業の卵も育てます
- 来年八月の予定。

開放交流施設としては図書室やシンボジウムルーム(紀の川テクノホール)などのほか、異業種の技術者同士が交流を進め



# 和好調 企業誘致 和歌山への熱いまなざし

ます。

当初は従業員七〇人でスタートしますが、すでに二期工事として新しい組立工場の建設も始まっており、将来的には従業員三七〇人、年間の生産額五四〇億円をめざしていきます。

また同社では、工場内にテニスコートやバレーコートなどを設け、広く地元に開放していくことです。

また同社では、工場内にテニスコートやバレーコートなどを設け、広く地元に開放していくことです。

に進出するもの

なお、これら三社で地元からは最終的に二八〇人程度の雇用が見込まれています。

### 企業誘致がもたらすもの

このように企業誘致は雇用の面からも大きな効果がありますが、それだけではありません。松下電池(株)を例にとっても、すでに約一〇〇億円の建設投資が行われており、地元業界への大きな波及効果が考えられます。

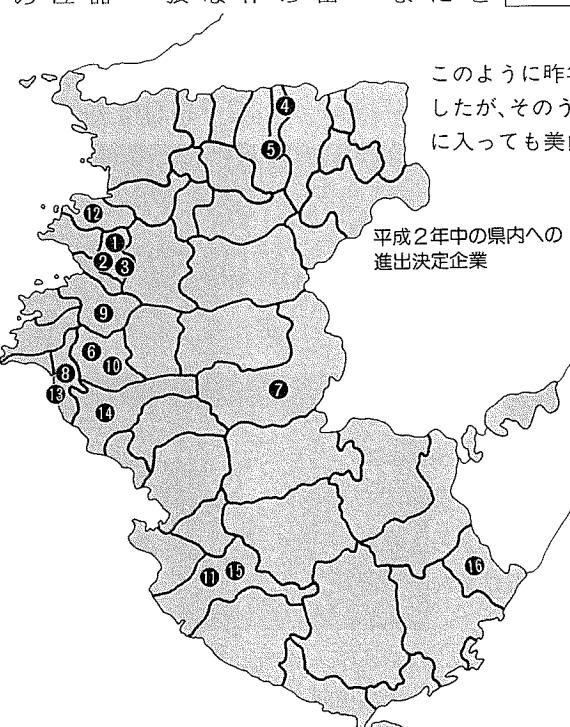
さらに県民所得の向上や、県、

市(町村)税の増収など多方面からのメリットが期待できます。現在も北勢田工業団地(打田町、一二・九翁)御坊工業団地(約二〇〇ha)海南インテリジョンパーク(約二〇ha)などで整備を進めています。

県内の高校卒業生(就職者)のうち四割が県外へ流出している中で、企業が今、熱いまなざしを送り始めた和歌山県。この機をとらえ、これからもより一層積極的な誘致活動を行っていきます。

された企業立地対策室(現在企業立地課)を中心に、東京、大阪の県事務所や市町村などと連携を行っています。また同時に企業立地の受け皿となる工業団地の整備もすすめています。

県でも昭和五十七年に設置された企業立地対策室(現在企業立地課)を中心に、東京、大阪の県事務所や市町村などと連携を行っています。また同時に企業立地の受け皿となる工業団地の整備もすすめています。



## 未知の分野に挑戦 工業技術センター新館建設へ

県内企業の活性化を支援するため、各種の試験研究や技術指導を行っているのが県の工業技術センターです。

平成元年度の一年間、センターに寄せられた企業からの試験依頼や相談などは約七万六千件。

地域産業に密着した研究機関として、すっかり定着していますが、急速に押しよせる技術革新の波の中で、先端技術の導入や人材育成、技術力の向上などが大きな課題になっています。

このため、様々な機能をもつた新館(研究交流棟)の建設工事をまもなく始めます。完成は来年八月の予定。

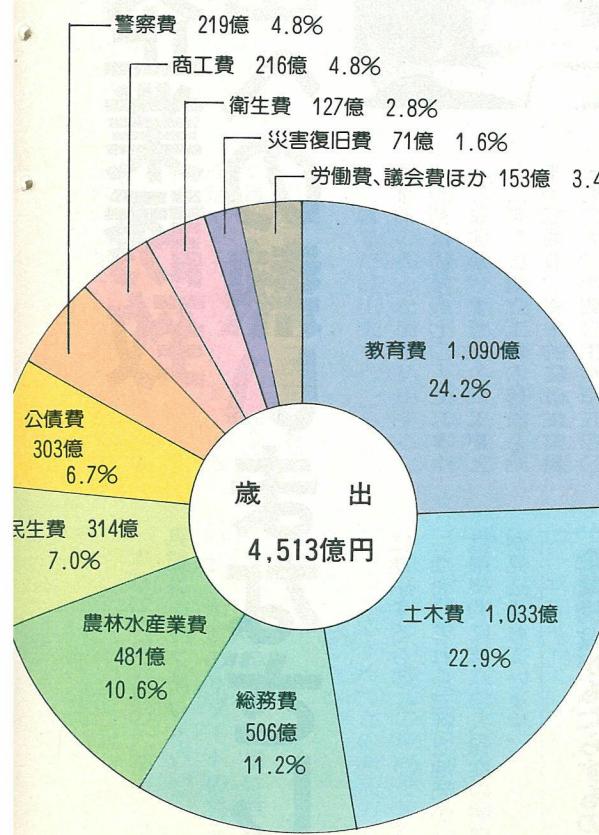
主な研究施設としてはハイテク用の新素材として注目を集めているニューセラミックスの評価試験室やメカトロニクス、バイオテクノロジーの研究室、また旺盛な意欲をもって新分野に挑戦する起業家のために研究室を貸与するインキュベータールーム(二十四時間利用可)。元々は児を育てる保育器の意)などを計画しています。

時代にあった技術開発を効率よく行うためには、大学や研究所などの知識と企業の現場の技術が結びつくことが大切です。

テクノ財團は、産・官・学が一体となって、地域産業活性化のために、人材育成、情報提供、研究開発などを実行するために発足したものです。今後、基金(目標七億円)の運用益を活用して、センターと協力しながら、県の工業技術の振興を支援していきます。

工業技術センターの電子顕微鏡。金属などの成分分析に使われます。

# 時代へ (平成3年度県予算決まる)



予算の歳出は、職員の人件費などの「義務的経費」と、さまざまな事業を行う「政策的経費」に大きく分けられます。新年度予算では、職員定数の削減や退職手当の伸び率の減などにより、歳出全体の四・六割(対前年比〇・一減)の構成比で義務的経費を抑制しました。

## 歳出

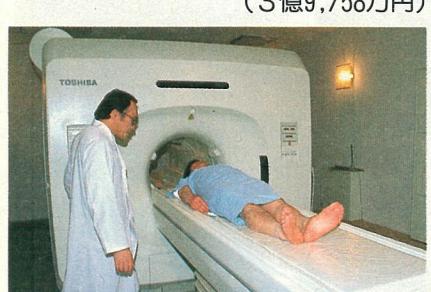
**田辺沿岸地域漁港施設調査** (新)  
田辺市扇ヶ浜に海水浴場と漁港の機能を併せもった施設の整備調査。  
(1,000万円)

## 健康の増進

**県立医大の整備**  
医大移転整備事業基本計画の策定と、競馬場跡地の造成調査。  
(8億1,132万円)

**総合福祉会館・総合保健センター(仮称)の設計** (新)  
和歌山市手平の旧国鉄和歌山操車場跡地への総合福祉会館、総合保健センターの建設計画の策定。  
(5,000万円)

**医療機器の充実**  
県立医大附属病院の診療機器の整備、磁力による画像診断装置「超伝導型MRI」の紀北分院への設置など。  
(3億9,758万円)



**精神障害者社会復帰対策**  
回復途上にある精神障害者の社会復帰を促進。通院患者のリハビリテーション、小規模共同作業所への助成など。  
(1,587万円)

**医薬分業の推進** (新)  
薬剤師の実態調査、薬事情報センターの設置など医薬品を取りまく医療環境の基盤整備。  
(1,062万円)

## 福祉の充実

**在宅老人福祉の展開**  
在宅老人とその家族を支援する在宅老人福祉サービスを緊急に整備。ホームヘルパーの増員、ショートステイ、デイサービス事業の拡大など。  
(9億3,923万円)



**老人福祉施設の整備**  
特別養護老人ホーム、デイサービスセンター、介護支援センターなど17カ所の施設を整備。  
(9億5,101万円)

**ふれあいのまちづくり推進** (新)  
住民の生活上の悩みや心配事に応じる「ふれあい福祉センター」を和歌山市、橋本市に設置。  
(1,461万円)

**精神薄弱児者施設の整備**  
南紀療育園(上富田町)の精神薄弱児部を精神薄弱児者施設に改編、「南紀福祉センター」として開園。  
(5,646万円)

**心身障害者施設運営補助**  
21カ所の小規模作業所に運営費の補助。  
(3,510万円)

## 同和問題の解決

県同和対策総合推進計画に基づき住環境整備、産業就労対策、教育啓発など1日も早い同和問題解決のため諸施策を展開。  
(140億7,532万円)

## 快適な環境づくり

### 和歌公園の整備

和歌山市片男波に野外ステージ、噴水広場などを備えた健康運動公園を整備。  
(7億3,433万円)

### 合併処理浄化槽設置の推進

生活雑排水による生活環境の悪化を防止するため、合併処理浄化槽を推進する市町村への補助制度。  
(8,561万円)

### 交通安全施設の整備

国道371号、国道24号の信号機の自動感應化をはじめ県内路線の信号機、標識の整備。  
(8億1,918万円)

### 救急振興財団(仮称)への出資

救急車の中で救命を行う「救急救命士」の養成のため財団に出資。救命率の向上を図る。  
(1億300万円)

### 県営住宅の建設

県内各地域で5団地151戸の建設と、和歌山市内2団地での建て替え計画の策定。  
(14億3,163万円)



## 国際化と教育の充実

### 国際和歌山の紹介

在日外国人や海外の人々に和歌山県を紹介する英語版のデータブックを作成。  
(236万円)



### 高等学校の施設整備

教室、体育館、寄宿舎など学校施設を充実。また那賀高校に国際科、桐蔭高校に数理科学科を設置。  
(28億8,260万円)

## 養護学校の整備

たちはな養護学校(広川町)、みくまの養護学校(新宮市)の教室、体育館など学習施設を整備。  
(8億4,349万円)

### 子供や青少年の健全育成

子育ての専門知識を分かりやすくアドバイスするラジオ番組「子育て知恵袋」の放送。  
(125万円)

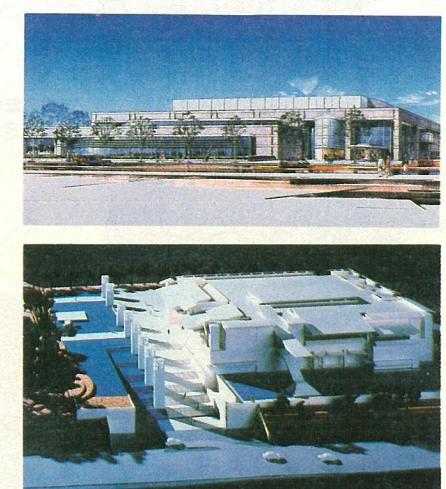
### ●子供と家庭のテレフォン110番

子供や家庭の悩みの電話相談を実施。  
(921万円)

## 文化・スポーツの振興

### 県立図書館の建設

和歌山大学経済学部跡地に今年7月から建設開始。平成5年3月の完成をめざす。あわせて図書の電算システムの開発と、図書館内に設置する文化情報センターの映像情報の整備も行う。  
(14億2,789万円)



### 新美術館・博物館の建設

新美術館・博物館を和歌山大学教育学部跡地に建設。今年10月に着工し平成6年3月に完成の予定。また館蔵品の購入のため博物館に3億円、美術館に2億円を基金として予算化。  
(13億1,519万円)

### 県スポーツ・レクリエーション大会の開催

昨年本県で開かれた全国スポレク祭に引き続き、スポレク種目やニュースポーツの競技大会を今年9月に開催。  
(1,000万円)

## 同和対策事業と地方交付税

市町村が実施する同和対策事業には、市町村単独事業、県費補助事業そして国庫補助事業があります。そのうちで国庫補助事業については、国庫補助金となる財源として発行した地方債の元利償還金については、原則としてその八割が普通交付税として還元されます。

つまり、国庫補助率三分の二の同和対策事業の場合は、残りの三分の一の地方負担を地方債で財源措置すると、その元利償還金の五分の四が普通交付税で交付されるため、市町村の最終負担割合は、 $\frac{1}{3} \times \frac{4}{5} = \frac{4}{15}$ で約六・七パーセントとなります。さらに、市町村が単独で行う事業など普通交付税で財源措置されないものについても、特別交付税により市町村の財政負担の軽減が図られています。平成2年度で措置された特別交付税は約三七億円です。

# 21世紀・和歌山の

## 基盤整備を中心に 県単独事業10.8%増

国際化、情報化、技術革新、高齢化といった社会環境の変化と、ゆれ動く世界情勢。今、世界は大きな時代のうねりの真っただ中にあります。

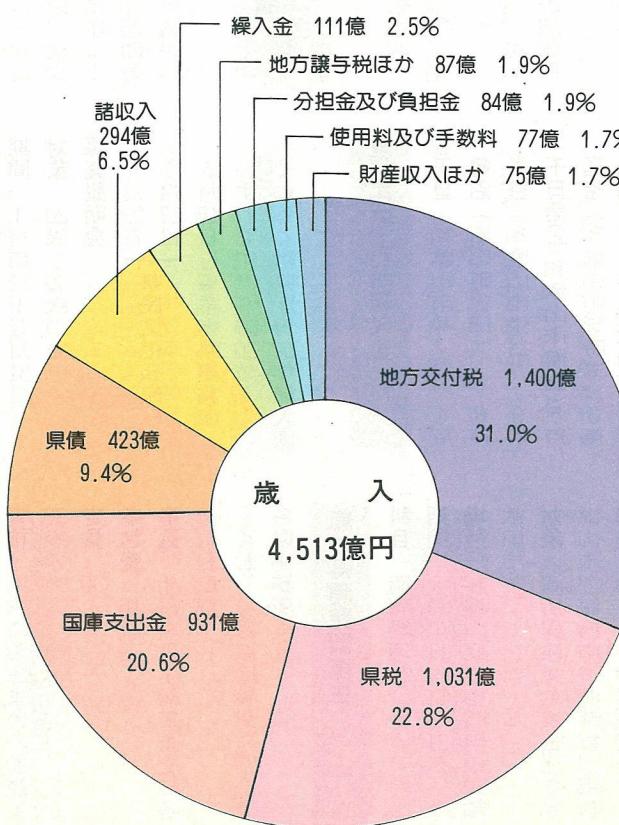
私たちの生活が世界と直結している今、県では、この時代の潮流をしっかりと受け止め、力強く立ち向うことのできる新年度予算を組みました。

新年度の県予算は、一般会計4,513億4,021万8千円、特別会計696億7,997万6千円、企業会計166億2,009万5千円。

低迷していた税収には復調傾向がありますが、その水準はまだ十分ではなく、財政状況は依然として厳しい状態のなか、行政改革などによる歳出の合理化や、国の財源措置のある起債の活用など、できる限りの工夫をこらし、地域産業の発展、健康・福祉社会の実現、人づくりと文化の創造をめざした積極的な予算(前年度比6.8%増)となっています。

和歌山マリーナシティやコスモパーク加太などのビッグプロジェクトをはじめ、交通網の整備や産業の振興、健康・福祉の充実、文化の振興など盛りだくさんの新年度予算。それらすべてをこの紙面で紹介することはできませんが、ここでは主なものを取り上げてみました。

※新は新規事業を表わしています。



歳入の約二割を占める県税収入では、〇三一億円を見込んでいます。これは前年度の九四五億を九・一割上回り初めて一千億円台となりました。また投資的事業を行なうため、その財源として県債(借り入れ金を発行していますが、新年度は県債四二三億円を計上し、ふるさとづくり特別対策事業、半島振興道路整備事業など国の財源措置のある事業(地方交付税などで補てんしてくれる)を中心を使うこととしています。

約半分にあたる第1工区の埋立工事を完了。(120億100万円)

### 世界リゾート博の推進

平成六年夏に和歌山マリーナシティでの開催をめざして、世界リゾート博協会を設立。(1億5,160万円)

### リゾート産業関連企業の立地促進

県内にリゾート施設を新設する中小企業者に資金を貸付け。

(2億2,000万円〔融資枠〕)

## 農林水産業の振興



### 黒潮フロワーエリアの推進

キク、バラ、カーネーションなど花きの产地育成。生産出荷施設の近代化・高度化を推進。(1,682万円)

### 果樹園芸試験場の整備

落葉果樹の増殖と品目の多様化に対応するため、粉河町の県果樹園芸試験場紀北分場を新築し施設を充実。

(9,054万円)

### 紀州鶏の普及促進

紀州鶏(シャモ×ホワイトロック)の民間での飼育と消費の拡大を行い、紀州鶏のブランド化をめざす。

(411万円)

### イセエビ増殖技術開発

和歌山県のイセエビの漁獲高は全国一。天然の幼生イセエビの生態調査を実施し生存率を高める。(289万円)

## 交通基盤の整備

### 関西国際空港関連道路の整備

県道泉佐野岩出線、岬加太港線、粉河加太線の用地買収の促進。

(11億900万円)

### 高速道路の紀南延長

●湯浅御坊道路 全区間にわたり用地買収と工事の促進。

(14億4,800万円)

### 国道311号の整備

本宮トンネルの建設など工事の促進。

(19億1,200万円)

### 街路の整備

和歌山市、粉河町、海南市、御坊市、田辺市、白浜町、那智勝浦町などの街路の整備を促進。

(38億7,000万円)

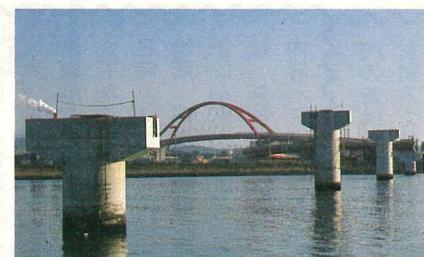
### 京奈和自動車道橋本道路の整備

橋本市から高野口町間11.3キロの用地買収を開始。

(4億4,800万円)

### 紀の川河口大橋有料道路の完成

市街地の混雑緩和と大阪方面への産業道路として紀の川河口の青岸橋に連



結。(6億9,600万円)

### 南紀新空港建設

現在ある南紀白浜空港の東側にジェット機が離着陸可能な1.8%の滑走路を建設。

(82億8,441万円)

## 商業・工業の振興

### 財和歌山テクノ振興財団の設立

工業技術の振興を目的に人材育成、情報提供などを行う財団を県工業技術センター内に設立。

(3億円)



### 中小企業等への資金融資

大型店進出対策資金融資、フロンティア企業育成融資、中小流通業事業転換等特別貸付融資。(14億円〔融資枠〕)

### 企業団地の造成

企業進出の要請に応えて、御坊市、桃山町、那賀町に企業団地の用地を確保。また和歌山市雜賀崎に都市再開発用地を造成。(56億4,520万円)

### 人材Uターンの促進

Uターン就職の促進のため、県東京事務所、大阪事務所に就職情報センターを設置。

(706万円)

### 観光・リゾート産業の振興

#### ふれ愛紀州路観光キャンペーン

和歌山県の「海」をテーマに観光キャンペーンを展開。

(1億5,450万円)



### 和歌山マリーナシティ建設

外防波堤、マリーナ護岸、緑地護岸の建設を継続。今年度末には総面積の





# なんと五十メートルの すべり台



桜の季節がやって来ました。高野口町の高野口公園(庚申山)は、紀北地方の桜の名所のひとつとして知られています。町ではふるさと創生資金を活用し、公園の整備を行ってきました。約50軒と30軒のすべり台、中に入った人の平衡感覚を狂わせるミステリーハウス、噴水広場や野鳥の森など楽しい施設が新しく整備されています。

3月3日の完成式にはクイズやグラウンドゴルフ、陶芸教室などのイベントが催され、約3千人が初春のあたたかい日曜日を楽しく過ごしました。

今年のお花見、一度訪れてみてはいかがでしょうか。(高野口町)

## 色あざやかな花の宴



会場内はまるでお花畠。スター・チス、スイートピー、カーネーション……色とりどりの花々が咲き乱れています。県内の花き生産の振興と消費の拡大を目的に毎年開催されている「花と緑のフェスティバル」、今年で五回目を迎えました。今年は三月二日と三日、和歌山市産業会館と和歌山西の丸広場を会場に、花の品評会、フラワーデザイン教室、新品種やバイオテクの紹介、青空市場などの催しが行われました。

特に、品評会には、県内花き生産者の皆さん的作品約四百点が出品され、丹精込めて育てられた美しい花々に入場者は魅せられっぱなしです。

花を眺めて楽しむ心のゆとり。いつまでも大切にしたいものですね。(和歌山市)

**桑山玉洲**

ぎょくしう

和歌浦に生きた文人画家

シリーズ①

和歌浦図巻のうち「東照宮図」

ひのくじの知識

会場内はまるでお花畠。スター・チス、スイートピー、カーネーション……色とりどりの花々が咲き乱れています。県内の花き生産の振興と消費の拡大を目的に毎年開催されている「花と緑のフェスティバル」、今年で五回目を迎えました。今年は三月二日と三日、和歌山市産業会館と和歌山西の丸広場を会場に、花の品評会、フラワーデザイン教室、新品種やバイオテクの紹介、青空市場などの催しが行われました。

特に、品評会には、県内花き生産者の皆さん的作品約四百点が出品され、丹精込めて育てられた美しい花々に入場者は魅せられっぱなしです。

花を眺めて楽しむ心のゆとり。いつまでも大切にしたいものですね。(和歌山市)

**桑山玉洲**

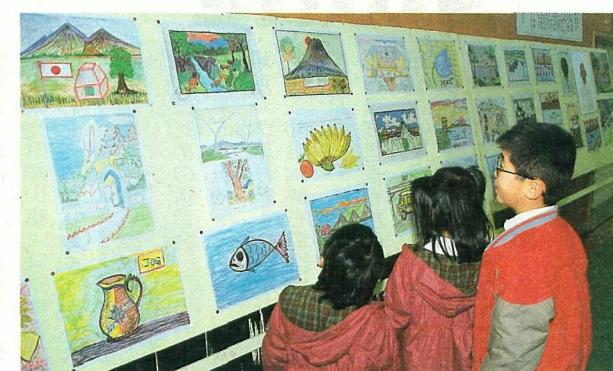
ぎょくしう

和歌浦に生きた文人画家

シリーズ①

和歌浦図巻のうち「東照宮図」

ひのくじの知識



## ミヤンマーから絵が届いたよ

三月二日、三日、桃山町安楽川小学校体育館で開かれた児童版画展の一角に、一風変わったクレヨン画が展示されていました。田んぼを耕やす水牛の姿、美しい川と緑の山々、そして家族や友だちの暖かい笑顔。すべて、鮮やかな色あいのクレヨン画です。

第二次大戦中、激戦地だったミャンマー(旧ビルマ)のテトマ村小学校が教材不足で困っていることを知った那賀ライオンズクラブが、四年前クリヨンを贈ることを提案。これにこたえて那賀郡の小学生らが新旧あわせて約二百七十キロのクリヨンと画用紙三千枚をミヤンマーに贈りました。このたびテトマ村の小学生から、そのクリヨンを使って描かれた作品四十五点が届き、今回の展示会子どもたちの夢は広がります。(桃山町)



日頃、雪と接する機会の少ない子供達に雪遊びを楽しんでもらおうと2月23日~24日、那智勝浦町で「第5回南の国の雪まつり」が開催されました。

会場の同町体育文化会館前には滋賀県余呉町から約百トンの雪が到着するや、大きな雪山が築かれ、待ちかねていたように子供達は雪合戦やダルマ作り、ソリ遊びなどで大はしゃぎ。この姿をカメラやビデオに収めようと走り回るお母さん達の表情も楽しそうに輝いていました。

また祭りのメイン行事の一つ「ギネスに挑戦」のコーナーでは400人がかりで150軒のめはり寿し作りに見事成功し、いつまでも笑顔と歓声のたえない会場でした。(那智勝浦町)

すへつて、こうんで、大はしやぎ



南部川村といえれば日本一の梅の里として有名ですが、ここにはもう一つ日本一があります。備長炭の生産高日本一。最近のグルメブームの中で、品質のよい紀州備長炭はどこへいってもひっ迫りだこです。ところが同村でも、製炭者の高齢化が進み、後継者の養成が大きな悩みの種。そこで優れた技を後世に引き継ぐ伝承の場として、また炭にまつわる情報や文化の拠点として「紀州備長炭振興館」が完成しました。ここでは一般の人も展示品などを通して、炭の製法や歴史を学ぶことができます。また野外には炭窯2基も整備され、炭焼きの体験学習なども行われるとのことです。

お問い合わせは南部川村役場産業振興課  
(0739)74-2400へ (南部川村)



**気分はまるで水上飛行機**

那智勝浦を訪れる年間の宿泊客は約百万人。また三重県伊勢志摩方面は約五百万人。さして遠くない二つの観光地ですが、交通の便の悪さから、行き来する人はあまり多くないのが現状です。

そこで勝浦~鳥羽間を二時間半で結ぶ定期航路を開設してはと、二月二十二日、高速艇による実験運航が行われました。ジェット機と同じエンジンを積んだ高速(時速約八〇キロ)のジェットフォイル船は騒音も静かで、水面をすべるように走り、乗り心地は快適そのもの。計画が実現すれば二見ヶ浦を見て伊勢参りの後は熊野詣や那智の滝へといった楽しい観光ルートの開拓やリゾート振興に大きく弾みがつくものと熱い期待が寄せられています。

関西国際空港、コスモパーク加太、和歌山マリーナシティなど大きなプロジェクトに向けた事業。国際化、高齢者社会に対応するためのさまざまな事業。数字の多い記事となりましたが、「一年の計」です。ご協力をお願いします。

あと  
がき

四月。新学期、新入生、新入社員……新、新となにもかもがまぶしい季節。新しい旅立ちのフレッシュマンたちに心から拍手。

……

「一年の計は元旦にあり」ならぬ、私たち行政マンにとって四月は人事異動、そして「一年の計は予算にあり」。新しい年度の始まりです。

「一年の計は元旦にあり」ならぬ、私たち行政マンにとって四月は人事異動、そして「一年の計は予算にあり」。新しい年度の始まりです。

関西国際空港、コスモパーク加太、和歌山マリーナシティなど大きなプロジェクトに向けた事業。国際化、高齢者社会に対応するためのさまざまな事業。